



失われた瓶



プレイ人数: 2人
時間: 10~15分

デザイナー: 中山 宏太
ゲームの種類: 推理、戦略

セットアップ: ドリンクは形状か色別に分けておきます(ストック)
カードを色と種類に分けてシャッフルし、それぞれ1枚選び裏向きのまま脇に置きます。
残りのカードをシャッフルし、各プレイヤーに5枚ずつ配ります。
各プレイヤーは、配られたカードを自分だけ確認します。
それぞれ手札から1枚選び裏向きで自分の前に伏せておきます。(捨て札)
最も最近自販機を利用した人から手番を交互に行います。

ゲームプレイ: ストックからドリンクを1つ選び、相手が対応するカードを手札に持っているか尋ねます(伏せているカードは含まない、返答は正直に)
相手が持っていた場合、選んだドリンクを相手の伏せカードの相手側に置きます。
持っていなかった場合、選んだドリンクを相手の伏せカードの自分側に置きます。

ゲームの終了: 相手の伏せカードの上にドリンクを6本置いたとき
相手は最初に伏せられた2枚のカードの内容(つまり正解となるドリンク)を回答します。
手番にドリンクを選ばずに最初に伏せた2枚のカードの内容を回答することができます。
いずれの場合でも伏せられた2枚のカードの内容を両方正解した場合回答者の勝ち、不正解なら相手の勝ちとなります。

ゲームデザイン・アートワーク: ジョーダン・ドレイパー
ルール校正: トラヴィス・H・ヒル
日本語訳: サイゴウ



www.jordandraper.com
talk@jordandraper.com